

GLASS RUN MOUNTING STRUCTURE FOR AUTOMOBILE

Publication number: JP60076420 (A)

Also published as:

Publication date: 1985-04-30

JP3013085 (B)

JP1655672 (C)

Inventor(s): YAMAZAKI KUNIO; SAKUMA HIROSHI

Applicant(s): KINUGAWA RUBBER IND

Classification:

- B60J1/17; B60J10/04; B60J10/08; B60J1/17;
international: B60J10/00; B60J10/02; (IPC1-7): B60J1/17

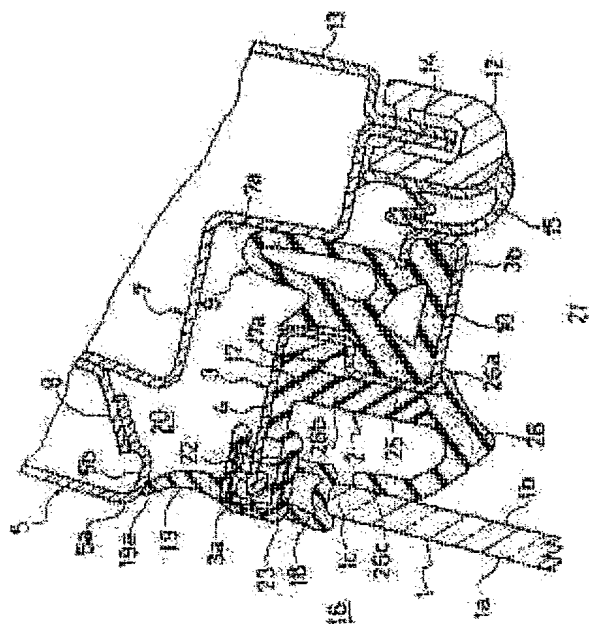
- **European:** B60J10/08

Application number: JP19830184898 19831003

Priority number(s): JP19830184898 19831003

Abstract of JP 60076420 (A)

PURPOSE: To improve the mounting strength and mounting operability of a glass run by molding a welt having a built-in core material and an U-shaped section integrally with the glass run to be attached to the outside of a car in a door sash portion. **CONSTITUTION:** A welt portion 23 having a core material 22 molded integrally with a glass run 2 and embedded and a U-shaped section is attached to the outside end 3a of a door sash portion 3, and next a glass run body 17 is attached in a glass run mounting portion 4 provided in the central portion of the door sash portion 3. Further, engaging portions 26a, 17a extending respectively from the door seal lip portion 26 side and the glass run body 17 side engage a door seal lip mounting portion 25 provided at the inside end 3b side of the door sash portion 3 to mount the glass run 2.; Thus, by mounting the glass run through the welt having the core material 22 built in the strength and operability of mounting are improved.



⑫ 公開特許公報(A)

昭60-76420

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)4月30日

B 60 J 1/17

7725-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 自動車用グラスランの取付構造

⑯ 特 願 昭58-184898

⑰ 出 願 昭58(1983)10月3日

⑱ 発 明 者 山 崎 國 生 千葉市長沼町330番地 鬼怒川ゴム工業株式会社内

⑲ 発 明 者 佐 久 間 宏 千葉市長沼町330番地 鬼怒川ゴム工業株式会社内

⑳ 出 願 人 鬼怒川ゴム工業株式会 千葉市長沼町330番地
社

㉑ 代 理 人 弁理士 志賀 富士弥

明 細 書

1 発明の名称

自動車用グラスランの取付構造

2 特許請求の範囲

(1) ドアサッシュ部に対し、ドアガラスを昇降可能に案内するためのグラスランを一体的に取付けて成る自動車用グラスランの取付構造において、前記グラスランと一体成形され、かつ、内部に芯材が埋設された断面略U字状のウェルト部を、前記ドアサッシュ部の車外側に位置する外側端に一体的に装着したことを特徴とする自動車用グラスランの取付構造。

3 発明の詳細な説明

本発明は、自動車用グラスランの取付構造の改良に関する。

従来の自動車用グラスランの取付構造としては、例えば、第1図及び第2図に示すようなものが知られている。

この取付構造は、ドアガラス1を昇降可能に案内するグラスラン2を、断面略逆U字状のドアサッシュ部3のグラスラン取付部4内に嵌装して、ドアサッシュ部3に対しグラスラン2を一体的に取付けて構成されている。なお、同図において、5はルーフアウターパネル6とドアアウターパネル7との接合フランジ8に一体的に装着されたドリッブモール、9はドアサッシュ部3のドアウエザーストリップ取付部10に一体的に取付けられ、ドア11の閉時にドアアウターパネル7に弾接されるドアウエザーストリップ、12はドアアウターパネル7とドアインナーパネル13との接合フランジ

部14に嵌着された、断面略U字状のウェルトボディーサイド、15は該ウェルトボディーサイド12と一体成形され、前記ドアサッシュ部3の内側端3bと弾接される中空状のグラスチャンネルを示す。

ところで、このような構成の従来のドアシール構造にあつては、ドアサッシュ部3内に嵌装されたグラスラン2にてドアガラス1を昇降案内するようにしているため、ドアガラス1の外側面1aとドアサッシュ部3の車外16側の外側端3aの表面との間に、所定寸法の段差2が生じ、そのため、その部分が車体の外郭面として凸凹となつて車体の美的外観を損うばかりでなく、その段差2により、自動車走行時の空気流に乱れが生じて風切音の発生原因となつてゐる。

そこで、このような不具合を解消するためには、

8

スランの取付構造を提供することを目的とするものである。

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。なお、従来例と同一構成部分には、同一指示符号を付してその重複する説明は省略する。

第8図は本発明に係る自動車用グラスランの取付構造の一実施例を示す要部断面図である。

第8図に示すように、グラスラン2を構成しているグラスラン本体17は、ドアガラス1を昇降可能に保持するドアサッシュ部3のグラスラン取付部4内に嵌着保持されており、このグラスラン本体17には、内部に芯材22が埋設された断面略U字状のウェルト部23が一体成形されている。このウェルト部23は、前記ドアサッシュ部3の車外16側に位置する外側端3aに、その部分を挟持するよ

5

ドアガラスの外側面とドアサッシュ部の外側端表面とをほぼ面一とすることが必要となるが、このような構成を採るため、単純に、ドアサッシュ部の外側端、グラスランの外側端及びドアガラスの外側面をほぼ面一にしようとする、ドアサッシュ部の外側端側において、グラスランの取付強度が低下するおそれが生ずる。

本発明は、このような実情に鑑み、ドアサッシュ部の車外側に位置する外側端に、グラスランと一体成形され、かつ、内部に芯材が埋設された断面略U字状のウェルト部を一体的に装着して、ドアサッシュ部、特にその外側端側におけるグラスランの取付強度の向上を図ることができるとともに、ドアサッシュ部に対するグラスランの取付け作業性の向上を図ることができる自動車用グラ

4

うにして一体的に装着されており、ドアサッシュ部3に対するグラスラン2の取付強度の向上、及びその取付作業性の向上が図られるようになつてゐる。このウェルト部23のドアガラス1側には、ドアガラス1の端縁1cに弾接されるシール部18が一体成形されており、また、このウェルト部23のドリツプモール5側には、そのドリツプモール5の折曲部5b外側面5aに弾接される位置まで延びるドリツプモールシールリップ19が一体成形されている。このドリツプモールシールリップ19は、ドアの閉成時に、ドリツプモール5の外側面5aに弾接して、ドリツプモール5の折曲部5b、ドアアウターパネル7、ドアウエザーストリップ9及びドアサッシュ部3で囲繞される空間部20を、ドアサッシュ部3の外側端3a近傍位置で閉塞し、

6

もつて前記空間部20内への雨水等の侵入^を防止し、自動車の走行時において、空間部20内に空気が侵入乱流して生ずる空気抵抗の増大及び風切音の発生防止、及び空間部20を車外16から視認できないように被つて、自動車の美的外観の向上等を図ることとともに、ドアサッシュ部3とグラスラン2との間から車室21内への雨水等の侵入を防止するために設けられたものである。また、ドアサッシュ部3の内側端3bに形成されたドアウエザーストリップ取付部10内には、ドアの閉成時に、ドアアウターパネル7の外側面7aに弾接して、ドアサッシュ部3とドアアウターパネル7との間をシールするためのドアウエザーストリップ9が嵌着保持されている。前記ドアウエザーストリップ取付部10とグラスラン取付部4との間には、それら

7

及びドアシールリップ部26に形成されたドアガラス1側の延出端部26cは、ドリツプモール5、ドアガラス1に対する弾接性、すなわちシール性の向上を図るため、スポンジゴム、発泡体などの軟質材にて形成されている。

このような構成の本発明に係る自動車用グラスランの取付構造の取付手順は、まず、ドアサッシュ部3の外側端3aに、断面略U字状のウェルト部23を装着し、次に、ドアサッシュ部3の中央部分に設けられたグラスラン取付部4内に、グラスラン本体17を嵌着し、更に、ドアサッシュ部3の内側端3b側に設けられたドアシールリップ取付部25に、ドアシールリップ部26側及びグラスラン本体17側からそれぞれ延出された係止部26a、17aを係止させることにより行う。このような取付手

8

に連続する、断面略コ字状のドアシールリップ取付部25が形成されており、この取付部25の両側端に、グラスラン本体17側、及びドアガラス1の内側面1bに弾接されるドアシールリップ部26側から延出された係止部17a、26aが、該ドアシールリップ取付部25を両側から挟持するようにして係合嵌着されている。

なお、この実施例では、グラスラン2のうち、グラスラン取付部4内に嵌着されたグラスラン本体17、ドアシールリップ取付部25に取付けられたドアシールリップ部26の基端部26b、及びウェルト部23は、ドアサッシュ部3に対するグラスラン2の取付強度を高めるため、ソリッドゴム等の硬質材にて形成されており、その他の部分、すなわち、ドリツプモールシールリップ19、シール部18

8

順によつて、ドアサッシュ部3に対しグラスラン2を取付けることができるので、可及的速やかにドアサッシュ部3に対するグラスラン2の取付け^{を待つ}ことができる。また、グラスラン2の車外16側がウェルト部23を介して取付けられるので、グラスラン2、特にその車外16側を、ドアサッシュ部3に対して強固に取付けることができるとともに、このウェルト部23と一体成形のシール部18及びドリツプモールシールリップ19を、ドアサッシュ部3の所定位置に正しく位置させることができるので、ドアの閉成時において、ドリツプモールシールリップ19の延出端部19aを、ドリツプモール5の外側面5aに対して確実に弾接させて、ドリツプモール5とドリツプモールシールリップ19との間を確実にシールすることができる一方、ド

10

アガラスノの閉成時において、ドアガラスノの端縁ノを、シール部18に対して確実に弾接させて、ドアガラスノとシール部18との間を確実にシールすることができる。また、ドアの閉成時において、ドリツプモール5の外側面5a、ドリツプモールシールリップ19、ウエルト部23、シール部18及びドアガラスノの外側面ノaがほぼ面一の連続面となるので、自動車の美的外觀の向上及び風切音の発生防止等を図ることができる。

以上の説明から明らかなように、本発明は、ドアサッシ部の車外側に位置する外側端に、グラスランと一体成形され、かつ、内部に芯材が埋設された断面略U字状のウエルト部を装着するだけで、ドアサッシ部に対しグラスランを一体的に取付けられるので、ドアサッシ部に対するグラ

スランの取付作業性の向上を図ることができるとともに、グラスランの車外側が、芯材を内部に埋設したウエルト部を介してドアサッシ部に取付けられるので、ドアサッシ部の外側端側におけるグラスランの取付強度の向上を図ることができる。

4 図面の簡単な説明

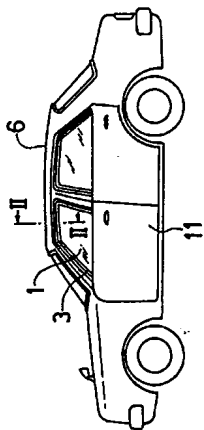
第1図は自動車の側面図、第2図は従来の自動車用グラスランの取付構造の一例を示す要部断面図、第8図は本発明に係る自動車用グラスランの取付構造の一実施例を示す要部断面図である。

1…ドアガラス、10…端縁、2…グラスラン、3…ドアサッシ、3a…外側端、16…車外、23…芯材、23…ウエルト部。

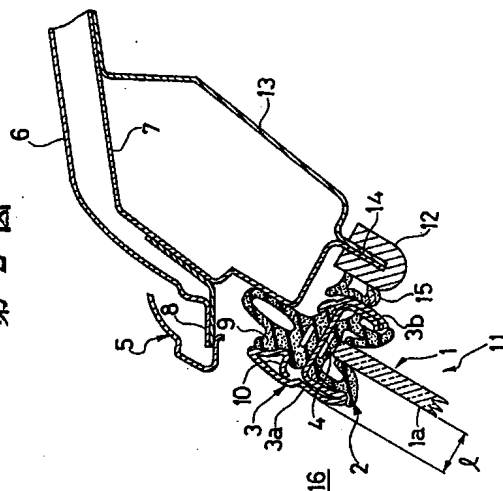
代理人 志 賀 富 士 弥



第1図



第2図



第 3 図

